

昭和56年度 和歌山県文化賞

はま ぐち よう ぞう
濱 口 陽 三

住 所：アメリカ合衆国サンフランシスコ

出 身 地：和歌山県有田郡広川町

生 年：明治42年

◎業績及び経歴

大正10年、東京の立教中学に入学。この頃から美術を本格的に志し、小林万吾(洋画)、建島大夢(彫刻)に師事。

昭和2年、東京美術学校(現、東京芸術大学)塑像科に入学されたが、これに飽きたらず、また梅原龍三郎氏の助言もあり、昭和5年には同校を中退し、パリに留学。以来独学。

昭和13年、銅版画・水彩画による最初の個展をパリで開催。以後、東京、サンパウロ、トリノ、ニューヨーク、ロンドン等で個展を開催。

また、各種展覧会での受賞も数多く、昭和29年日本現代美術展佳作賞、昭和32年東京国際版画ビエンナーレ展東京国立近代美術館賞、サンパウロ国際ビエンナーレ展国際版画部最高賞、昭和33年毎日新聞社美術賞、ルガノ国際版画ビエンナーレ展国際賞、昭和35年リュブリアナ国際版画展グランプリ、昭和47年クラコフ国際版画ビエンナーレ展ワルシャワ国立美術館買上賞等枚挙にいとまがない。

作品収蔵美術館も多く、東京国立近代美術館、神奈川県立近代美術館、千葉県立美術館のほか、フランス、イギリス、アメリカ、ポーランド等の有名美術館に収蔵されている。

和歌山県立近代美術館には、「赤い鉢と黒いさくらんぼ」(1965年作)など110点が収蔵されている。